

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和4年11月10日(木)

【協議事項】

1 浪川会の第6回指定に係る意見聴取の実施について

(暴力団対策部)

警察本部から「大牟田市に主たる事務所を有する浪川会については、指定暴力団として、第6回目の指定を行うため、12月1日に警察本部において本県公安委員会委員を主宰者とする意見聴取を実施することについて御審議をお願いします。」旨の報告があった。

公安委員から「浪川会は、政治団体としても活動しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「政治団体としての活動は確認していないが、浪川会の組員が設立に関与した政治団体が存在するということである。」旨の説明があった。

公安委員から「暴力団幹部の役職は、どのように特定しているのか。」旨の発言があり、暴力団対策部長から「捜査で押収した資料等を基に特定している。」旨の説明後、本件は了承された。

2 太州会の第11回指定に係る意見聴取の実施について

(暴力団対策部)

警察本部から「田川市に主たる事務所を有する太州会については、指定暴力団として、第11回目の指定を行うため、12月1日に警察本部において本県公安委員会委員を主宰者とする意見聴取を実施することについて御審議をお願いします。」旨の報告後、本件は了承された。

【報告事項】

1 出資法違反事件被疑者の逮捕について

(生活安全部)

警察本部から「早良警察署ほか4警察署及び生活安全総務課は、SNSを利用して顧客に金銭を貸し付け、法定利率を超える利息を受け取った出資法違反事件について、10月26日及び翌27日、福岡市東区居住の派遣社員の男性ほか3人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者と顧客は、SNSを通じて直接的にやり取りをしていたのか。」旨の発言があり、警察本部から「被疑者らは、SNSを利用して顧客を募り、その後はメールでやり取りを行うなどして、顧客に直接融資を持ち掛けていた。」旨の説明があった。

公安委員から「逮捕した被疑者は4人であるが、今後、更に増える可能性があるのか。」旨の発言があり、警察本部から「今後の捜査次第では、更に増える可能性もある。」旨の説明があった。

公安委員から「顧客は全国にいたのか。また、顧客の住居地等を管轄する都道府県警察とも協力して捜査を行ったのか。」旨の発言があり、警察本部から「全国に約4,000人の顧客がいたものとみている。また、本件の捜査は、本県警察のみで行っている。」旨の説明があった。

公安委員から「被疑者らは法定利率の40倍から136倍を超える利息を取っていたとのことであるが、法定利率の上限の136倍ということか。」旨の発言があり、警察本部から「そのとおりである。被疑者らは、利息分を差し引いて貸し付けるなどしており、計算すると利率上限の136倍となる。」旨の説明があった。

2 殺人等事件被疑者の逮捕について

(暴力団対策部)

警察本部から「暴力団犯罪捜査課及び京都府警察は、平成25年12月19日、京都市山科区に所在する会社敷地内において、被害者に対して拳銃で弾丸を数発発射し、腹部等に命中させ、多臓器損傷による失血により死亡させた殺人等事件について、10月28日、五代目工藤會傘下組織幹部を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「9年に及ぶ捜査には大変な苦労があったと思う。引き続き全容解明に努めてもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「本件は、客観的な証拠資料が少なく、地道な捜査の積み重ねにより被疑者を逮捕したものである。引き続き、京都府警察と連携し、事件の全容解明に努めていく。」旨の説明があった。

3 第38回福岡県交通安全県民大会の開催について

(交通部)

交通部長から「11月15日、福岡国際会議場において、第38回福岡県交通安全県民大会を開催する。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となり、参加者は交通安全功労で表彰を受ける方など約500人を見込んでいる。」旨の報告があった。

公安委員から「どのような団体・個人が表彰されるのか。」旨の発言があり、警察本部から「表彰の対象は、交通安全活動に功労のあった個人、団体等であり、例えば、交通ボランティアに積極的に取り組んだ個人、事業所、婦人会、老人クラブなどである。」旨の説明があった。

4 福岡マラソン2022の概要について

(交通部)

警察本部から「11月13日、福岡市及び糸島市において、3年ぶりに「福岡マラソン2022」が開催され、参加人数は約1万4,000人を見込まれる。県警察では、交通対策を始め、白バイによる先導、ランニングポリスによるコース上での警戒など、所要の体制で警備に当たる。」旨の報告があった。

公安委員から「都市部における大規模な交通規制となるが、公共交通機関への影響はないのか。」旨の発言があり、警察本部から「公共交通機関からも全面的な協力があり、路線バスは迂回するなどして対応する。なお、交通総量を抑制するため、県警察ホームページや県警察Twitter等で交通規制に関する協力を呼びかけている。」旨の説明があった。

公安委員から「北九州マラソンについても、同様の対策を講じるのか。」旨の発言があり、警察本部から「大会の規模やコース等を踏まえ、適切に対応していく。」旨の説明があった。

5 電磁的公正証書原本不実記録・同供用事件被疑者の逮捕について

(警備部)

警察本部から「春日警察署及び公安第二課は、所属する政治団体が所有する街宣車の移転登録にあたり、佐賀運輸支局に対し、保管場所等を偽って申請を行い、国交省が管理する自動車登録ファイルに不実の内容を登録させ、公正証書の原本として利用できる状態にした電磁的公正証書原本不実記録・同供用事件について、10月26日、糟屋郡志免町居住の無職の男性ほか2人を逮捕した。」旨の報告があった。